

長寿命補強土

モルタル吹付型

標準積算資料

長寿補強土株式会社

目 次

1 適用範囲	1
2 施工手順	1
3 長寿補強土（植生型）の歩掛	2
3.1 のり面清掃工	2
3.2 頭部処理 2	2

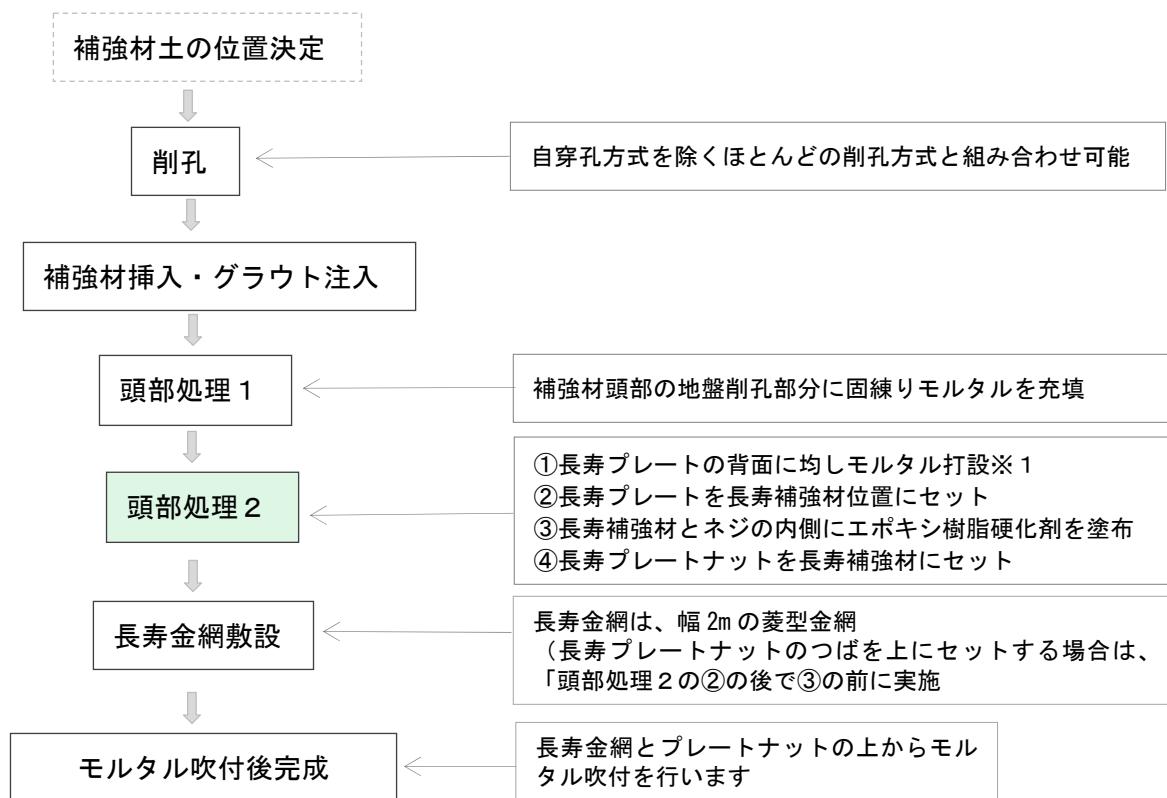
1 適用範囲

本資料は、長寿命補強土工（モルタル吹付型）の積算に使用する。本資料では、図-1のフローチャートのうち、「法面清掃」、「頭部処理2」の歩掛と施工法について示す。

本資料以外の部分については、市場単価や全国特定法面保護協会資料や補強土に関する各工法の資料を参考にする。

2 施工手順

図-1にフローチャートをしめす。（現場への資材搬入と撤去は記載していない。）



※1：金網敷設前に均しモルタルを施工し、均しモルタルの上に長寿プレートを設置し、長寿プレートの上に金網を敷設した後に、長寿プレートナットを取り付は、最後に吹付モルタルを行っても良い。

図-1 施工フローチャート

3 長寿命補強土（モルタル吹付型）の歩掛

3.1 のり面清掃工

のり面の浮石、浮き土、施工に障害となる雑草の除去を行う場合に表-3.1で計上する。

表-3.1 のり面清掃工歩掛（100 m²当たり）

名 称	単位	数 量
土木一般世話役	人	0.5
のり面工	人	1.5
普通作業員	人	0.5
諸雑費	%	15.0

※1 諸雑費は、労務費の合計額に対して15%を乗じる。

3.2 頭部処理2

長寿命補強土の地上部分の処理には、表-3.2で計上する。

頭部処理2は、図-1に示した下記①～④の作業である。

- ①長寿命プレートの背面に均しモルタル打設※1
- ②長寿命プレートを長寿命補強材位置にセット
- ③長寿命補強材とネジの内側にエポキシ樹脂硬化剤を塗布
- ④長寿命プレートナットを長寿命補強材にセット

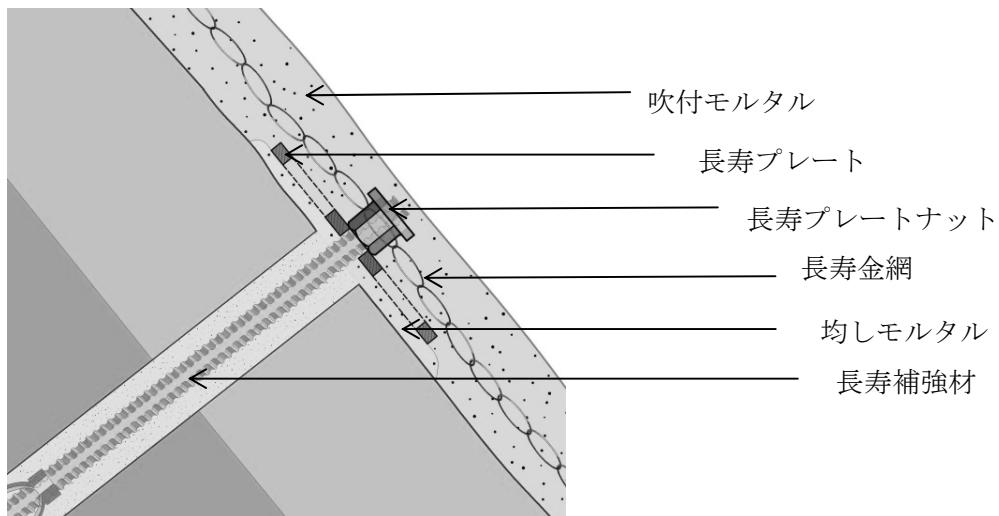


図-2 頭部処理2の説明図

表-3.2 頭部処理2歩掛 (100箇所当たり)

名称	単位	数量		
		頭部処理1を計上する場合	頭部処理1を計上しない場合のロープ足場※2	頭部処理1を計上しない場合の単管足場※2
土木一般世話役	人	1.25	3.3	2.0
のり面工	人	3.5	6.6	0
普通作業員	人	1.25	3.3	6.0
諸雑費	%	45.0	28	21

※1 諸雑費は、長寿頭部ナットと長寿補強材の固定のために必要なエポキシ樹脂グラウト充填作業に必要な資材、固練リモルタルの施工に必要な資材などを含む。

※2 人員数量は、全国特定法面保護協会の頭部処理工資料による。

頭部処理2に必要な、長寿プレート付ナットと長寿補強材の固定のために必要なエポキシ樹脂グラウト材は、必要資材として計上する。

グラウト充填に必要な材料

① グラウト充填剤必要量

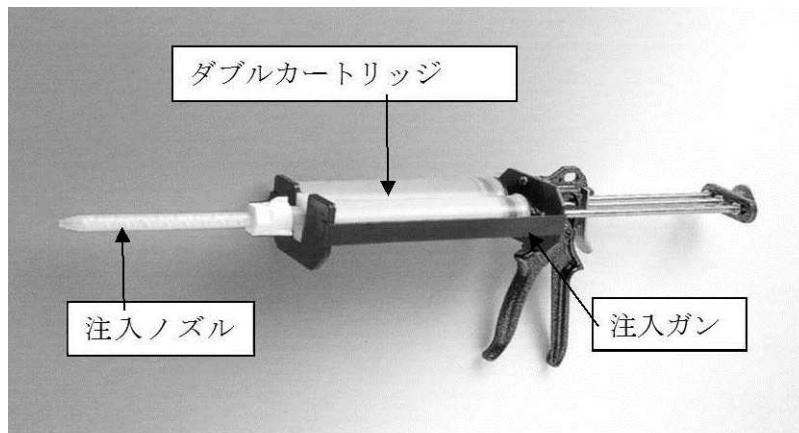
長寿頭部ナットを使用する鉄筋径	長寿頭部ナットと鉄筋固定グラウト剤必要量(g) [ロス50%考慮]
D19	11
D22	14

② プレートナットのグラウト充填剤の例 (参考)

表-参1

品目	現場への適用
ダブルカートリッジ (主剤と硬化剤のセット720g)	最低1セット必要 <u>D19は65本ごとに1セット追加</u> <u>D22は50本ごとに1セット追加</u>
注入ガン	現場に1個
注入ノズル(主剤と硬化剤を混合)	<u>20箇所ごとに1本</u>

下記の機材等で勘合部の補強材とナットの内側にエポキシ樹脂硬化剤を塗布する。



3.3 長寿金網

モルタル吹付工に市場単価を使用する場合は、市場単価に含まれるラス金網（線径 2.0mm 網目 50×50）と長寿金網の差額をモルタル吹付け工の市場単価に加算する。その際、一般的にはモルタル吹付工面積の 1.4 倍の金網が必要となる。

改定

① 平成 28 年 8 月 12 日

- ・表-3.2 頭部処理 2 歩掛で「頭部処理 1 を計上する場合」の普通作業員の員数を 1.25 名に修正する。
- ・3.3 長寿命網の記載を追加する。

長寿命補強土 モルタル吹付型 標準積算資料

平成28年8月

長寿補強土株式会社

〒891-0103 鹿児島市皇徳寺台4丁目51番7号

er-info@bronze.ocn.ne.jp

電話 099-275-9234

FAX 099-275-9235